

令和6年 栃木市長 新年の抱負 (要旨)

○年頭のあいさつ

- ・ 昨年は、第2次栃木市総合計画の初年度となり、本市の将来像である「豊かな自然と共生し 優しさと強さが調和した 活力あふれる栃木市」を実現するため、新たなまちづくりがスタートした。
- ・ 栃木県誕生150年の節目を迎え、最初の県庁が置かれ、栃木県発祥の地でもある本市では、様々な記念イベントを開催し、大勢のお客様をお迎えした。
- ・ 新斎場「あじさいの杜」の供用開始、消防本部新庁舎の完成、都賀西方スマートインターチェンジ開通など、取り組んできたことが実を結んだ1年だった。
- ・ 「栃木シティフットボールクラブ」が全国地域チャンピオンズリーグで優勝し、JFL昇格が決定した。全国リーグの舞台での飛躍を期待している。

○産業の振興と雇用の創出について

- ・ 栃木インター産業団地は、令和6年度中に一部分譲の開始を予定しており、造成工事を進めていく。
- ・ データセンター事業実施可能性調査において、データセンターの立地及び事業運営に適していると判断されていることから、企業誘致に力を入れていく。
- ・ 平川地区の産業団地は、豊富な地下水を活かし、地域の活性化を促進するフードバレー構想を推進するため、食料品系企業の誘致を進めていく。

【産業基盤整備課 0282-21-2377】

【市街地整備課 0282-21-2775】

○治水対策等について

- ・ 現在、永野川の大規模改修や巴波川の地下捷水路整備など、抜本的な河川改修が県により進められている。
- ・ 「災害に強い栃木市」を実現するため、内水対策として、調節池の整備や中小河川の改修、田んぼダムの整備等を進め、流域治水に取り組んでいく。
- ・ 自主防災組織に対する支援を行うとともに、防災訓練やハザードマップの普及啓発などにより、市民の皆様の更なる防災意識の高揚に努めていく。

【道路河川整備課 治水対策室 0282-21-2784】

【危機管理課 0282-21-2551】

○子育て支援の充実について

- ・ 本年4月から、「こども家庭センター」を栃木保健福祉センターに開設する。
- ・ こども家庭センターの開設により、全ての妊産婦や子育て世代を対象に、適時的確に情報の提供や相談支援を行う。
- ・ より支援を必要とする方には、ワンストップ相談体制と切れ目のない伴走型支援を行うことが可能となる。
- ・ 本市の子育て支援のさらなる充実を図り、こどもまんなか社会の実現を目指していく。

【子育て支援課 0282-21-2193】

○公共施設再編モデルについて

- ・総合支所、公民館、図書館を複合化し、避難所としての機能も有する「(仮称)都賀総合支所複合施設」は、令和7年2月の開庁を予定している。
- ・複合施設は、カーボンニュートラルを推進するため、太陽光発電・蓄電池・EVの充放電器など、環境に配慮した設備を導入する。

【都賀地域づくり推進課 0282-29-1100】

○その他

- ・市立美術館・文学館は開館から3年目を迎え、アール・ヌーヴォーの代表的画家であるアルフォンス・ミュシャや浮世絵師の葛飾北斎など、著名な作家の展覧会をはじめ、お子様からご年配の方まで楽しめる魅力的な企画展を開催する。
- ・谷中湖とハートランド城が「恋人の聖地」に選定された渡良瀬遊水地を起点としたデートコースの提案やアクティビティと連携した取組を推進していく。
- ・本市の新たな魅力として、「恋人の聖地」を広くPRしていく。
- ・消防本部・消防署庁舎整備は、指令センターの整備や既存庁舎の解体工事を経て、令和6年度中の事業完了を予定している。
- ・11月に、コロナウイルスの5類移行後、はじめての「とちぎ秋まつり」開催が予定されている。市最大の祭りとして、皆様に楽しんでいただけるよう、実行委員会と協力し、準備を進めていく。
- ・第2次総合計画の2年目を迎え、計画に掲げる各施策を着実に実現できるよう、努めていくとともに、本市の将来を見据え、安全で安心して暮らせるまちづくり、持続可能なまちづくりを目指して、取り組んでいく。
- ・子どもから大人まですべての世代が、笑顔あふれる心豊かな暮らし、「ウェルビーイング」を実感できるまちづくりを進めるために、精一杯の努力をしていく。

【美術・文学館課 0282-25-5300】

【渡良瀬遊水地課 0282-62-1301】

【地域政策課 0282-21-2453】

【消防総務課 0282-23-3527】

【観光振興課 0282-21-2874】

【総合政策課 0282-21-2302】

総合政策部 広報課
担当 渡邊・藤澤
電話 0282-21-2148